

鳥海山 山行報告

1. 目的地 : 鳥海山(ちょうかいさん 2236m) 山形県/秋田県
2. 日程 : 平成20年7月4日(金)~6日(日)
3. 天候 : 曇り(山上は濃霧と強風)
4. 参加者 : 参加者14名(男性5名・女性9名)
5. 参加費 : 17、300円(ガソリン代、車・運転謝礼、高速代、宿泊代、温泉入浴、事故保険料)
6. コースタイム:

銚立登山口~賽の河原~御浜小屋~御田ヶ原~七五三掛(昼食)~御田ヶ原~御浜小屋~愛宕坂~
8:00 9:35 10:25 11:50~12:25 13:15
河原宿~伝石坂~大平登山口
15:25着

7. レベル : 累積標高差 約1240m 行動時間約7時間25分 登山上級(D)
8. 山行状況 : 夜中に高速道路を走って、銚立登山口の広い駐車場には予定どおり午前6時に着いた。景色を眺めながら朝食のつもりだったが、寒くてそれぞれの車の中で窮屈に朝食を済ませ、仮眠の後、下山口に車1台をデポして歩き始める。
遠望は利かないものの足元の花を愛でながら登って行くと最初の雪渓が現れる。雪が緩んでるのでアイゼンが無くても何とか歩ける。賽の河原には雪解け水が何本もの水流となって流れおり、今回のコースでは最後の水場になる。山頂付近には水場が無く御室小屋は宿泊者でも水は有料で、500m1ペットボトル1本が500円とのことで、ここで充分に補給していく。

御浜小屋を過ぎると稜線に出るので急に風が強くなる。雨具やザックカバーはバタバタと音を立て、時々来る突風に体が煽られてよろめくこともある。ガスも益々深くなり列になって歩くメンバーも5・6人しか見えない。御田ヶ原からの下り斜面も登山道は雪渓の下に消えている。濃霧で雪渓の先がどうなっているか全く見えないけど、ここはロープが張ってあるので、それを頼ってゆっくりと下って行く。次の七五三掛(しめかけ)へ登り返す斜面の雪渓でルートを見失った。微かな足跡を頼って雪渓を上り詰めたが、そこは雪解けの湿った枯れ草が広がるだけで登山道が見つからない。雪渓が消える縁を捲し回ったが、とにかく視界が悪くてそれらしいものが見つからない。「迷った時は元に戻る」の鉄則に従って、登山道が雪渓に消える地点まで下って再度考え直す。そしてやっと雪渓の対岸に登山道の続きをを見つけた。やや風の弱まった七五三掛直下の斜面で昼食。この間に偵察に出ると、外輪山コースの強風は益々強く、千蛇谷コースは濃密な霧の底に沈んでおり前進が危ぶまれた。山頂小屋まで1時間30分の地点。撤退は非常に残念だったが、安全第一に考えてここで登頂を断念した。運良く携帯が通じたので、山頂小屋をキャンセルし、今夜の宿を確保してから下山にかかった。

翌日は観光に切り替えて、ほぼ予定通りつくばに帰り着いた。

9. 写 真 :

御田ヶ原辺りを撤退中



御浜小屋

ニッコウキスゲ



ハクサンシャクナゲ



ハクサンイチゲ

